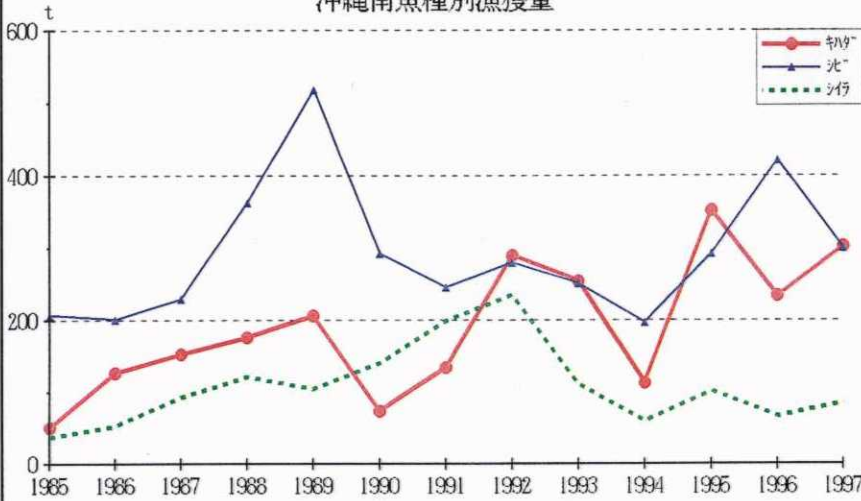


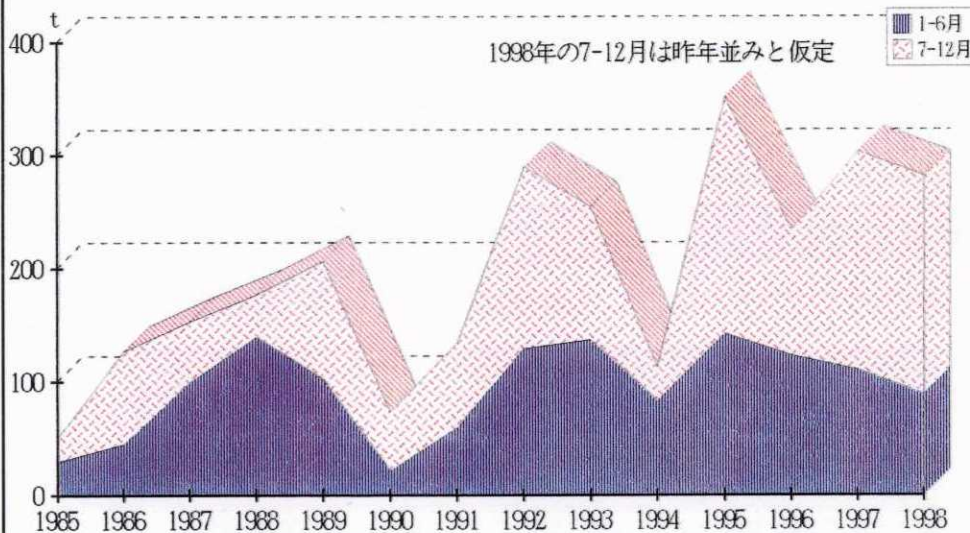
沖縄本島南方海域のパヤオに出漁する糸満漁協、港川漁協、知念漁協、沖縄市漁協のパヤオ漁の漁獲量を整理しました。その結果、パヤオ漁の主要な対象魚であるキハダ(10kg以上)、シビ(10kg未満)の1998年6月までの漁獲は、昨年よりやや少なめでした。

沖縄南魚種別漁獲量



キハダの漁獲量は、1989年まで順調に伸びてきましたが、1990年は不漁でした。1994年も不漁でしたが、過去3年間是好漁でした。シビの漁獲量は、1989年と1996年が好漁でした。シイラの漁獲量は、1992年まで急激に増加しましたが、その後は低調です。

沖縄南キハダ漁獲量

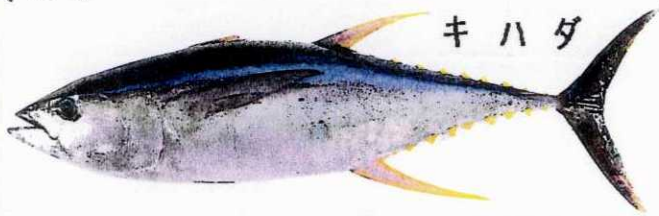


沖縄本島南部海域のキハダの漁獲は、春と秋の年2回ピークがあります。1990年は春、1994年は秋に不漁でしたが、最近では秋の漁獲が好調です。今年も8月は好調でしたので、今年年の漁獲量は、昨年並みかやや少なくなる予想されます。

沖縄南と伊良部のキハダ+シビの漁獲量



伊良部漁協のキハダとシビの漁獲量の動向と比べてみますと、1991年までは似た傾向を示していましたが、その後は、伊良部が悪化する傾向を示しています。昨年の秋以降は、ともに漁獲量が少なくなっています。

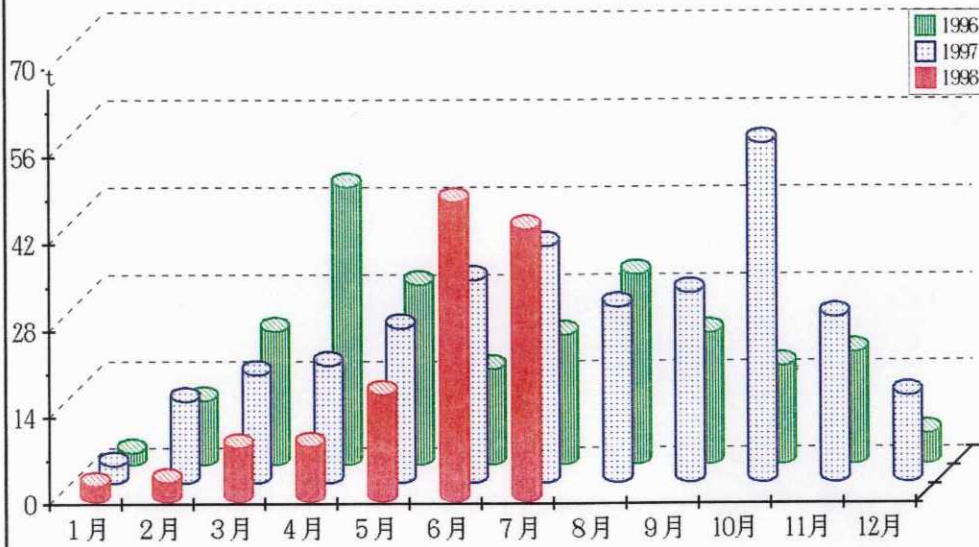


キハダ



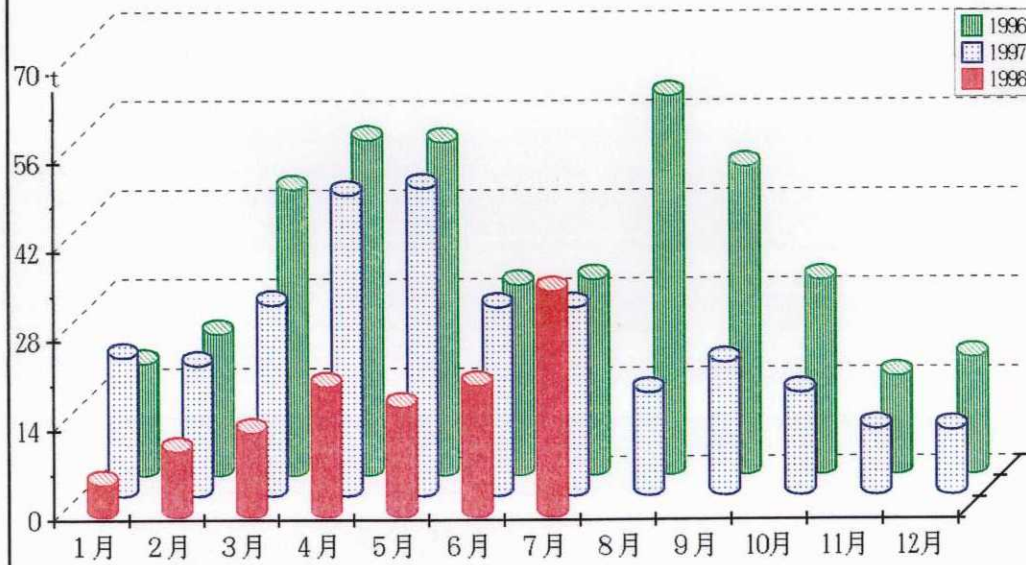
マンビキ

月別キハダ生産量の推移



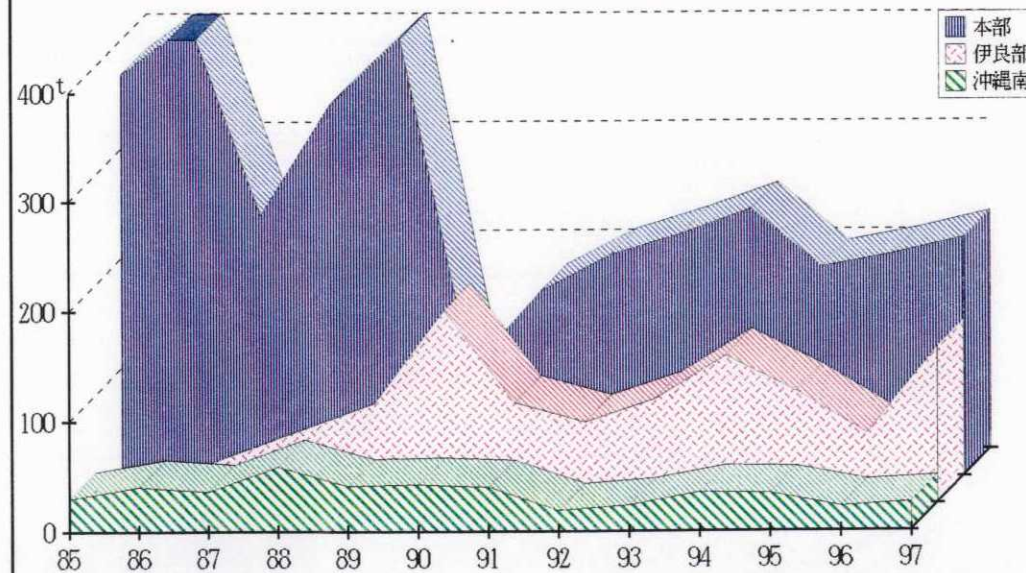
キハダの漁獲量は、4、5月と8、9月がピークになることが多いように思います。昨年は5月までかなり良くありましたが、その調子で5月まで5月までは、その後は好調です。

月別シビ生産量の推移



シビの漁獲量は月に差が少なく、10月～12月にかけては好調です。昨年は、春は少なかったが、6月以降は、好調です。

本部、伊良部、沖縄南カツオ漁獲量



沖縄南のパヤオでは、カツオを主対象にしますが、本部や伊良部ではよく釣られています。本部は、90年に急に漁獲量が増加傾向にあります。伊良部の漁獲量は、90年以降大きく変動しています。1997年は好漁でした。